

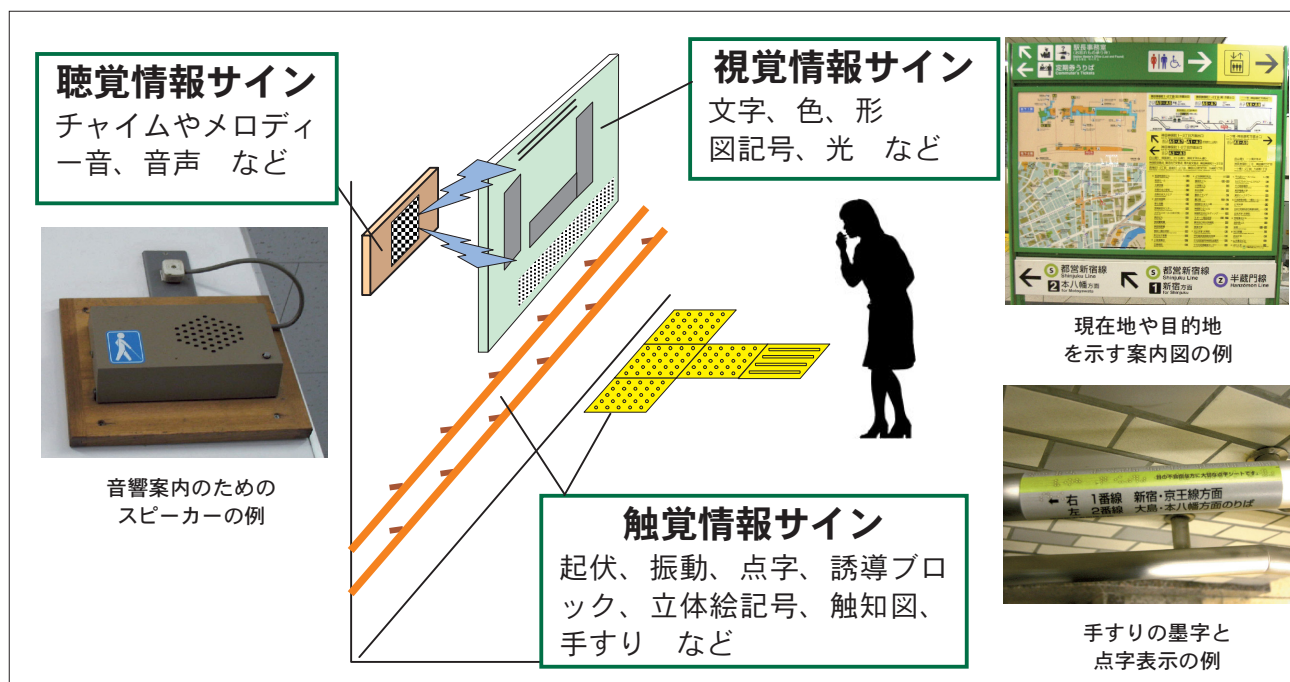
3 マニュアルの対象

3-1 「サイン」とは何か

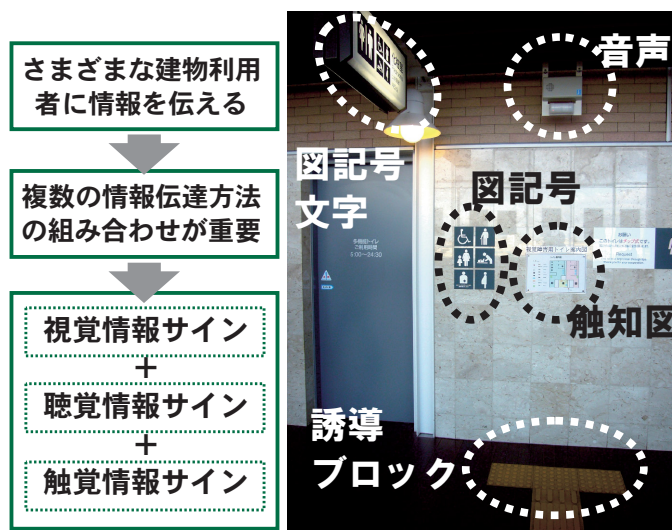
- 看板や掲示物、点字や音声・音響案内など、まちの中のさまざまな場所にあって、人に何かしらの情報を伝えるものの総称を「サイン」といいます。
- 「サイン」というと、文字や図記号などの「視覚情報サイン」がすぐに連想されますが、人への情報の伝え方（以下、情報伝達方法）はさまざまであり、その違いで分類すると、主に、以下のようなサインがあげられます。

- ① 「視覚情報サイン」：人の視覚に働きかけて情報を伝えるサイン
- ② 「聴覚情報サイン」：人の聴覚に働きかけて情報を伝えるサイン
- ③ 「触覚情報サイン」：人の触覚に働きかけて情報を伝えるサイン

■情報伝達方法の違いによる建物サインのイメージと参考例



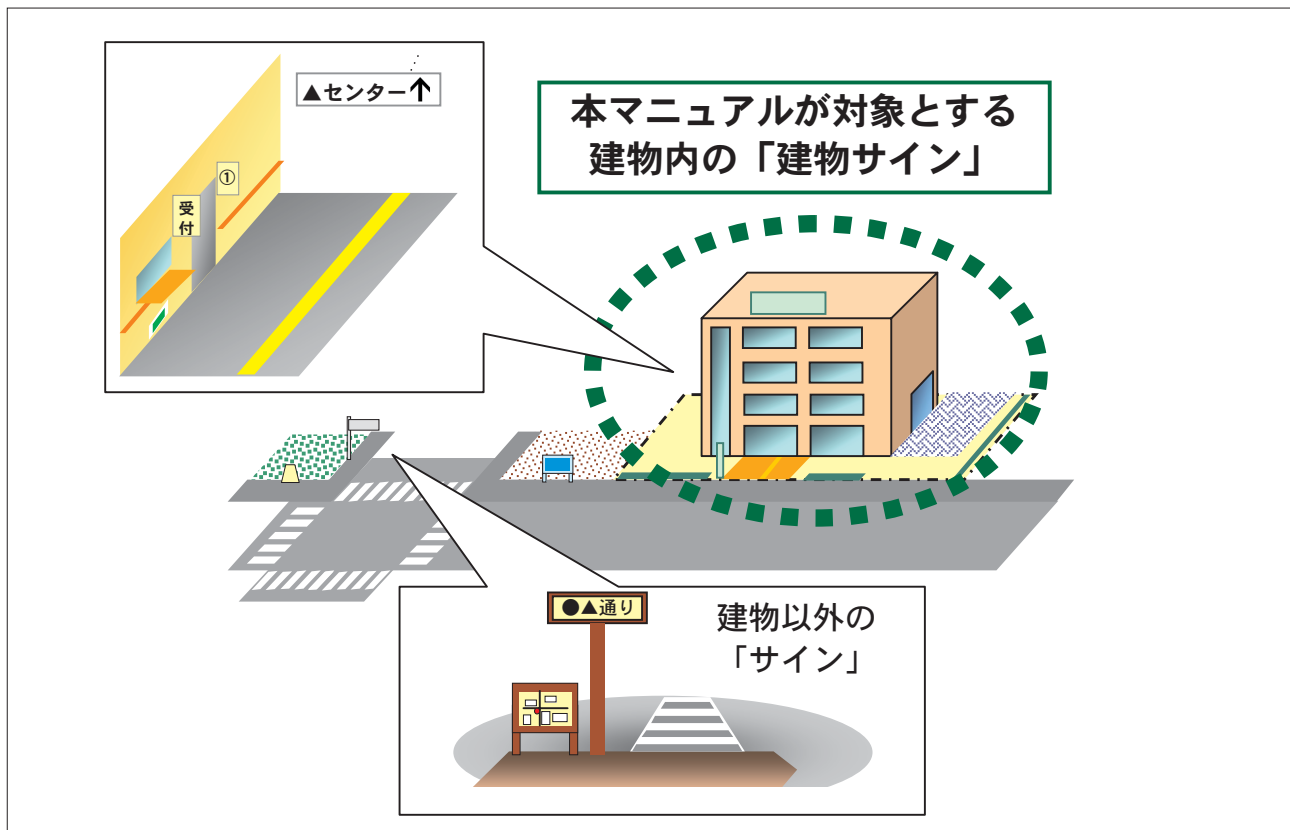
- 特に、さまざまな建物利用者に情報を伝える必要がある場合は、一つの情報伝達方法だけではなく、複数の方法を組み合わせることが重要です。
- 右の写真は、トイレの位置を文字、図記号、音声案内、触知図、誘導ブロックなど、複数の情報伝達方法によって示している例です。



3-2 マニュアルが対象とする「建物サイン」

○本マニュアルでは、建物内（建物敷地内の外周部も含む）にある「建物サイン」を主な対象とします。

■対象とする「建物サイン」



3-3 マニュアルが対象とする建物

○本マニュアルでは、区民利用施設、社会福祉施設、病院、大規模物販店、宿泊施設等、公共的な建物に限らず、民間の建物を含めたさまざまな建物を対象とします。

■マニュアルの対象と活用主体

